

第3回 酒田港脱炭素化推進協議会 議事概要

日 時 : 令和7年2月12日(水) 15:20 ~ 16:50

場 所 : ホテルリッチ&ガーデン酒田 スカンジナビア

【議事概要】

規約の改正と酒田港港湾脱炭素化推進計画(以下、「計画」という。)の取組状況と変更について議論した。規約の改正では、構成員に東邦アセチレン株式会社および山形遊佐洋上風力合同会社を追加した。計画の変更では、県による再エネ電力プランの採用や高砂ふ頭への太陽光発電設備の導入、カメイ株式会社のバイオ燃料供給プロジェクトの拡大、東邦アセチレン株式会社の水素ガス発生装置運営プロジェクト、国土交通省・山形県および山形遊佐洋上風力合同会社の洋上風力発電プロジェクトに関して説明し、変更計画(案)について協議した。

令和7年3月下旬に変更計画を策定、公表、送付する予定とした。

【主な意見等】

(2) 酒田港港湾脱炭素化推進計画の取組状況及び変更

- 設備容量が計61万kWとのことだが、発電規模の算定にあたり稼働率はどの程度で算定したのか。
 - 資料3-1、24ページの「規模」と「事業の効果」を集計している。各実施主体にヒアリング等を行い、それぞれで稼働率を見込んで発電規模を設定した。

- バイオ燃料供給に関して、県としてどのぐらいの量を使用するなどの考えはあるのか。
 - 使用量は設定していない。NETISに登録されているということもあるので、請負業者や港湾施設の事業者へのPRからはじめていきたいと思う。
- バイオ燃料は、どのぐらいの量が集まれば酒田でも使えるようになるという目安はあるか。
 - タンクのある塩釜から大型車両1台、1回の配送で14から20キロリットルほど運ぶことができる。この量を酒田に卸せれば最少としてはよいのかなと考えている。

- 水素製造に関して、水素ステーションを設置する予定はあるか。
 - 現段階で予定はない。県や市とも話し合いながら必要になれば手を挙げていきたいと思う。

- バイオ燃料に関して、燃費は軽油同等とのことだが、実際のセタン価は何割程度と考えればよいか。
 - 燃費の低下は全くない。セタン価は通常の軽油より高い数字が出ている。

- 洋上風力発電に関して、供給価格 3 円/kWh と記載あるが、供給価格とは何か。
 - 供給価格は補助金額を決める際の基準であり、需要家に電力を販売する価格ではない。仮に電力市場価格が 3 円/kWh 以下になると差額分を補助するというものである。実際に需要家との電力契約で販売価格が決まる。